

TOPIC 9  
8  
4  
全道大会での健闘を誓う  
陸上・バドミントン全道大会出場報告

第39回北海道小学生陸上競技大会（8月15日、函館市）に出場する白糠陸上少年団の渡邊心暖さん（白糠小6年）と廣橋温真君（白糠小6年）、第40回全日本ジュニアバドミントン選手権大会ジュニア新人の部北海道予選会（8月10日、函館市）に出場する白糠中学校2年の松下姫香さんと白糠小学校5年の松下一誠君の兄弟が役場を訪問し、川島眞澄教育長に健闘を誓いました。

渡邊さんは6月26日に開催された釧路地方予選会において、小学6年女子800メートルで1位、廣橋君は同大会の小学6年男子走り幅跳びで2位という成績を収めました。

松下姫香さんは、中学生の釧路地区予選会において女子シングルスで準優勝し、出場権を獲得。弟の一誠君はジュニアナショナルメンバーとして全道大会への出場推薦を受けていましたが、6月27日に深川市で開催された小学生ABCバドミントン大会北海道予選会Aグループ（5・6年生）において男子シングルスで優勝し、全国大会への出場権も獲得しました。（全国大会は、開催地の熊本県で「まん延防止宣言」が発出されたことにより中止）

渡邊さんは「小学校最後の全道大会なので、悔いの残らないように入賞目指して頑張ります」、廣橋君は「緊張すると思いますが、自己ベストを更新できるよう頑張ります」、松下姫香さんは「中学校3回目の全道大会ですが、一番いい結果を残せるように頑張ります」、一誠君は「今回の大会は中学生が相手なので、一つでも多く勝てるように頑張ります」と誓いました。



前列左から松下一誠君、姫香さん、廣橋君、渡邊さん



松下一誠君と姫香さんの兄弟



避難者役の方は、それぞれの情報が書かれたベストを着ています

TOPIC 11  
8  
19  
防災に必要な知識や技能を学ぶ  
庶路学園7年生が防災学習

庶路学園（齋藤超校長）で防災学習が行われ、7年生17人が災害伝言ダイヤルの使い方や避難所運営ゲームなどを行い、防災に必要な知識や技能を学びました。

避難所運営ゲームでは、津波警報が発令され同校に避難所が開設されたという想定で実施。運営側の生徒は、「けが人」や「妊婦」などといった避難者の事情に合わせて、最善の方法を話し合いながら誘導先を決めていました。浅利真弥さんは「被災したら、避難者への気遣いをできるようにしたい」と話していました。



魚の口にリバーサーを入れて水を送り込み、胃袋を洗う部員たち

TOPIC 7  
8  
2  
魚の付加価値を高める  
漁協青年部リバーサーで魚の胃袋洗浄

白糠漁業協同組合青年部（加藤崇青年部長）は、魚の胃を洗浄し、内容物を除去する器具「リバーサー」を使って魚の胃袋洗浄を行いました。

「リバーサー」を使った胃袋洗浄は、鮮度保持のほか、これまで捨てるしかなかった内臓も調理できるようになるなど、年々漁獲量が減る中、一匹の付加価値を高める取り組みとして、注目を集めています。

加藤さんは「魚の本当のおいしさを、皆さんに知っていただけたらうれしい」と話していました。

TOPIC 8  
8  
3  
平和への誓い新たに  
殉公者追悼式

殉公者追悼式がやまびこ会館で開かれ、遺族や関係者など約50人が参列し、殉公者へ冥福を祈りました。

式では、棚野孝夫町長が「平和と安寧が悲惨な歴史の上にあり、未来へ継承することが私たちの使命」と式辞。鈴木直道北海道知事（代読）、富田忠行議会議長の追悼の言葉の後、参列者が献花を行いました。

最後に、遺族会の中河敏史会長は「悲惨な戦争の記憶を風化させることなく後世へ伝えることが、犠牲となられた方に報いる道です」とあいさつを述べました。



献花をし、冥福を祈る棚野町長



供養之塔前で故人の冥福を祈る小松会長

TOPIC 10  
8  
12  
交通事故で亡くなった方の冥福を祈る  
第46回交通事故死者慰霊祭

交通安全協会（小松嗣明会長）主催の交通事故死者慰霊祭が、和天別の交通事故死者供養之塔前で開かれ、約20人が参列し、事故で亡くなった方を追悼しました。

式では、参列者全員で故人へ黙とうを捧げたのち、一人一人が供養之塔前で焼香しました。

小松会長は「交通事故による犠牲者がなくなるよう、関係機関団体とともに交通安全運動を強く推し進め、交通事故の根絶に向け、一層力を尽くしていく」と追悼の言葉を述べました。